

ゆめまつり ~神戸夢交流・ともに神戸の未来を描こう~

とき 平成18年11月5日(日)
ところ デュオドーム、神戸生活創造センター4階
参加人数 30,000人(うち体験型の催し参加人数3,000人)

開催趣旨

神戸地域ビジョン委員会活動を県民に広く発信し、神戸地域ビジョンや神戸地域ビジョン推進プログラムの周知を図るとともに、県民との幅広い交流を進め、神戸地域ビジョンの実現に向けた様々な実践活動を促進する。

テーマ

神戸の魅力を活かした多彩な交流活動に取り組み、人、団体、地域内外のネットワークの拡充を進める。

プログラム

神戸地域ビジョン委員会のグループ活動の発信を中心に、神戸生活創造センター登録グループなどの様々な団体が参画し、多彩な交流事業を実施。

神戸地域ビジョン委員会が中心となり企画運営してきたゆめまつり。参加団体は、ビジョン委員会、生活創造センターグループをはじめ、ビジョン委員のネットワークを通じた多彩なグループである。開会式は、神戸県民局長の開会挨拶の後、イラスト入選の表彰式が行われた。みんなが思い描く「楽しいまち・神戸」の未来のイラストの募集では、266点の作品の応募があった。その中から選ばれた10名の入選者に神戸地域ビジョン委員会の山口委員長から賞状と賞品が授与された。賞品は入選作品がプリントされた赤い生地で作られたジャンボクッション。小さな子どもの身長以上のこのクッションは、会場内で目を引き、開会式後も、入選者の目印のように会場が目立っていた。また、午後からはイラストの応募者全員に、応募作品を缶バッジにしてプレゼントした。



ステージ

「グローバルな魅力づくり」グループ

ステージ出演者への依頼・決定・調整を行い、当日は出演者受付や控え室・ステージへの誘導、舞台での出演者入れ替え時のセッティングと、様々で場面で活躍した。

ブース

ビジョン委員会グループの活動の情報発信を中心とし、多くの人でにぎわった。特に人が集まったのが“ゆめのはこ”。外側の壁には公募した子どもたちの描く未来のイラストが貼られ、中は子どもが自由に絵を描き、工ができるスペースである。

「子育て支援」グループ

子ども達が手や顔に絵の具をつけながら、思い思いに絵を描けるスペースを用意した。描いた絵はブースの壁に貼られ、始めは真っ白だった壁が時間の経過とともに華やかになっていった。子ども達が普段、学校や児童館、家庭でもさせてもらえない落書きなどが出来る場所、自分の思うままに自由に絵で表現できる場所として考えたブースであった。

「六甲山を活かすプログラム」グループ

手づくり木工は、ドングリや松笠、木の枝など全て六甲山で採取した材料を使用したもの。それらを上手く組み合わせて立体的な動物、乗り物、人形を作り上げていく子どもがいた。参加者が六甲山をもっと身近に感じ、触れ合えるような参加型のブースにした。

「青少年育成・居場所づくり」グループ

子どもと大学生が協力して、動くおもちゃ作りに挑戦。自分で作ったものが動く様子を見て子ども達はとても楽しそうだった。また、自分で描いた絵をぬいぐるみにする催しも行った。またステージでの出演や演出も行った。

「環境・循環型社会」グループ

ゴミの分別を学んだり、生ゴミ堆肥化装置を実際に見てもらった。「アースパルク O B E」のブースでは、手動の発電装置で自らエネルギーを作る体験ができた。

「神戸経済の活性化」グループ

ひときわ目を引いたのが神戸市出身の漫画家、横山光輝先生の作品、鉄人28号の1.8mの模型。珍しげに見る子どもや、懐かしそうに一緒に写真を撮ったりする大人の姿も見られた。活性化を目指して頑張っている商店街の様子を紹介する展示もあった。



「農都・神戸づくり」グループ

農産物・水産物の直売コーナーは、市内の農産物・水産物・花などをそろえ、完売という盛況ぶりであった。



「コミュニティの活性化」グループ

防災福祉コミュニティに対するアンケート結果をパネルで展示するとともに、地域の防災・防犯活動を紹介した映像を流し、地域コミュニティの問題点や今後の課題を学習する場となった。



「高齢者のお世話をする」グループ

野菜の区分けクイズや塩分量クイズで日常生活に役立つ知識を学んでもらった。

生活創造センター登録グループ

生活創造センターの登録グループの「卯月会」は、タオルで小犬、牛乳パックで動物の顔を作るコーナーを、「神戸中央おやこ劇場」は、ペットボトルを使ったマラカス作りや身近なものを使用した楽器づくりのコーナーを設けた。

「認知症サポーター養成講座」(生活創造センター)

「高齢者のお世話をするグループ」が企画運営。「認知症ケアと私たちにできること」をテーマに認知症の基礎知識・認知症の方への対応方法を学んだ。講座終了後も、講師に質問される方も多く、関心の高さが伺え、地域で認知症患者のケアを行う必要性を感じていただけた。



▲ 認知症サポーター養成講座

「親子クッキング」(生活創造センター)

「子育て支援グループ」と「農都・神戸づくりグループ」が共同で企画運営。ごちそういなり、須磨巻き、鳴門巻きを作った。参加者には、「簡単でおいしい。」「また家でも子どもと一緒に作ってみたい。」と好評だった。また、食材に地元の農水産物を使用している点に、参加者は安心されていた。



ステージでの催し

演技名・演目名	団体・グループ名
オリジナルショー	劇団「夢」サーカス
楽器演奏	Marist Brothers International School Symphonic Band
琵琶演奏・馬頭琴演奏・フルス演奏・歌	王 瑩・春 蘭・李 浩
津軽三味線&和太鼓コラボ	青少協地域音楽クラブ咲華(すみれ)
弦楽四重奏・コーラス	カネディアン・アカデミー
若者ギターバンド	気分屋/
健康体操	神戸地域ビジョン委員会 「高齢者のお世話をするグループ」
楽器(アングル)演奏	The Indonesian Student's Association in Japan Kobe Branch
民族舞踊・京劇・歌	東方文化芸術団
新アリラン・太平舞・南道民謡	在日本大韓民国兵庫県地方本部
インドダンス(子ども・大人)	シャンティ
道化師タマちゃんのおもしろショー	Child Entertainment
歌(子ども)	NPO法人M I C C (ミカゲインターナショナルプリスクール)
パネルシアター	ぼんぼん
江戸芸かっぽれ	ぐるーぶ豆しぼり
銭太鼓	神戸市シルバーカレッジ楽遊クラブ
ひょうご音頭・ふるさと兵庫(みんなで合唱)	ふるさとひょうご創生塾神戸交流会コーラス絆

子どもたちの未来のイラスト入選作品



仙賀 のどかさん

山田 夏穂さん

日高 萌友さん

古川 葉子さん

本田 絢子さん



宮崎 法子さん



僧根 志穂美さん



細川 有希子さん



宮本 佳奈さん



宮本 泰輔さん